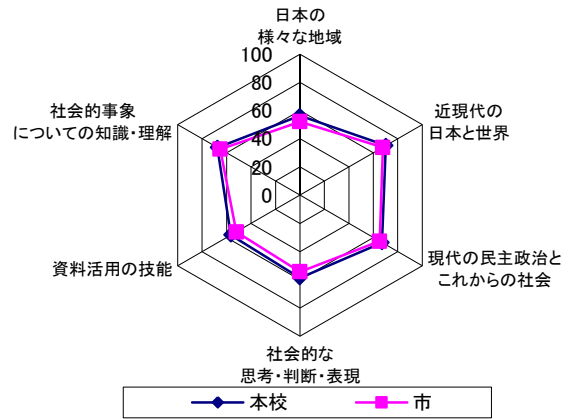


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	日本の様々な地域	56.3	52.1
	近現代の日本と世界	70.3	67.8
	現代の民主政治とこれからの社会	67.2	65.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	58.6	54.3
	資料活用 の技能	56.5	52.1
	社会的な事象についての知識・理解	67.4	65.2



## ★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	日本の様々な地域	この領域の本校の平均正答率は56.3%で、宇都宮市の平均を4.2ポイント上回る結果であった。 本校の正答率が最も低かったのは、日本の産業別人口割合の理解をもとに、グラフを読み取る問題であった。次に正答率が低い問題も、日本の穀物自給率の一因をグラフから読み取り表現する問題だったので、資料活用 の技能と、表現力の問題であった。	穀物自給率の低下などは今現在の日本に関わる大切な問題でもあるので、適切な発問をすることで、このような諸問題への関心を促す。 普段の授業の中で写真やグラフなどの資料を読み取る機会を多くすることで、資料を読み取る力の育成を図る。また読み取ったことをまとめさせることで、表現力の育成につなげる。
歴史	近現代の日本と世界	この領域の本校の平均正答率は70.3%で、宇都宮市の平均を2.5ポイント上回る結果であった。 ほぼ全ての問題で、市の平均正答率、全国の平均正答率を上回っているが、日本の高度経済成長期の様子を資料から読み取る問題が、唯一市と全国の平均を下回ってしまった。戦後の日本についての問題の本校の正答率が全体的に低いわけではなく、農地改革や戦後日本の復興など	高度経済成長期の日本については、光と影の部分を対比させ、各々を明確にしながら理解させる。また1970年代以降の内容はデタントやバブルなど複雑な内容も入ってくるが、一つ一つを詳しくではなく、大まかな流れを理解できるよう指導する。
公民	現代の民主政治とこれからの社会	この領域の本校の平均正答率は67.2%で、宇都宮市の平均を2.0ポイント上回る結果であった。 市と全国の平均を上回ってはいるものの、選挙制度についての問題の正答率が36.8%と低い結果となった。基本的人権と日本国憲法については非常に高い正答率である。	選挙制度は小選挙区制や大選挙区制、比例代表制など様々あり、また衆議院と参議院とでも選挙制度が違うので、しっかりと整理できるよう指導する。また選挙は身近に行われていることなので、現在の政党などの話も上げながら、生徒の政治や選挙に対する興味を喚起する。